

野田嶺志先生の略歴と主要業績

野田嶺志先生は立教大学文学部史学科・史学専攻教授として過去二五年にわたり、日本古代史研究に従事し、かつ学生の教育指導にあたってこられました。二〇〇五年三月三十一日をもって定年退職されました。以下にその略歴と主要業績の一部を紹介して、長年にわたる立教大学史学会へのご貢献に対するささやかな感謝のしるししたいと思います。

一九三九年十月二十九日 生まれ

【学歴】

一九六二年三月 新潟大学人文学部人文学科史学専攻 卒業
 一九六四年三月 京都大学大学院文学研究科国史学専攻修士課程 修了
 一九六七年三月 同 博士課程 単位取得退学

【職歴】

一九六七年四月 日本学術振興会奨励研究員
 一九六八年十月 神戸女子薬科大学専任講師
 一九七三年四月 同 助教授
 一九七七年四月 立教大学文学部助教授
 一九八〇年四月 同 教授
 二〇〇五年三月 同 定年退職

野田嶺志先生の略歴と主要業績

【立教大学内のおもな役職歴】

- 一九八二年四月～一九八四年三月 史学科長
- 一九九一年四月～一九九三年三月 史学専攻主任
- 一九九四年四月～一九九八年三月 全学共通カリキュラム総合部会長
- 一九九六年四月～一九九八年三月 立教大学史学会会長

主要業績一覧

【おもな著書・編著書】

- 一九八〇 『防人と衛士―律令国家の兵士―』 教育社歴史新書
- 一九八二 (共編著) 『日本経済史』 有斐閣新書
- 一九八四 『律令国家の軍事制』 吉川弘文館
- 二〇〇〇 (編著) 『村のなかの古代史』 岩田書院

【おもな論文】

- 一九六五 「日本律令軍制の特質」 『日本史研究』 七六号
- 一九六六 「日本書紀と大化改新―日本書紀の年代構成の作為性について―」 『日本史研究』 八七号
- 一九六八 「物部氏に関する基礎的考察―物部氏の成立・展開過程の一試論として―」 『史林』 五一巻二号
- 一九六九 「律令国家の成立と人民闘争」 『日本史研究』 一〇四号
- 一九七〇 「国の等級について―『続日本紀』宝亀六年三月乙未条をめぐる―」 『小葉田淳教授退官記念 国史論集』
小葉田淳教授退官記念事業会

- 一九七二 「防人と衛士」 『史元』 一五号

- 一九七二 「九世紀における農民支配の変質―「公民」から平民百姓へ―」 『赤松俊秀教授退官記念 国史論集』 赤松俊

秀教授退官記念事業会

- 一九七四 「七世紀前半政治過程の再検討―「蘇我入鹿」殺害事件の究明のために―」『神戸女子薬科大学人文研究』創刊号

- 一九七四 「国造軍論批判小考」『神戸女子薬科大学人文研究』第二号

- 一九七五 「律令軍事機構の成立とその役割」『日本史研究』一五〇・一五一号

- 一九七五 「崇仏論争」の再検討」『神戸女子薬科大学人文研究』第三号

- 一九七六 「甲子の宣」の一考察」『神戸女子薬科大学人文研究』第四号

- 一九七六 「律令制と中納言」『日本史研究』一七二号

- 一九七七 「延暦寺と最澄」門脇禎二編『史跡でつづる 京都の歴史』法律文化社

- 一九八三 「大王祭祀とフル遺跡」『古代を考える』第三二号

- 一九八四 「兵衛・兵衛府成立の史的意義―偽兵衛柏原広山配流事件を中心として―」『岸俊男教授退官記念 日本政治社会史研究 上』塙書房

- 一九八四 「兵士制成立に関する小考」『立教大学古代史研究会』古代史研究』二号

- 一九八六 「兵士訓練に関する一史料について」山田英雄先生退官記念会編『政治社会史論叢』近藤出版社

- 一九九〇 「古代王権の軍事的基礎について」『史苑』第五〇巻第二号

- 一九九一 「律令国家の戒厳令」上田正昭編『古代の日本と東アジア』小学館

- 一九九五 「壬申の乱の豪傑と別将」『立教大学古代史研究会』古代史研究』一三号

- 一九九五 「古代の精兵」門脇禎二編『日本古代国家の展開 上』思文閣出版

- 一九九七 「古代の戦争」上田正昭編『古代の日本と渡来文化』学生社

- 一九九七 「村の将軍―タケルと精兵の軍―」大山喬平教授退官記念会編『日本社会の史的構造（古代・中世）』思文閣出版

野田嶺志先生の略歴と主要業績

【書評・新刊紹介】

- 一九六五 「直木孝次郎著『日本古代の氏族と天皇』『日本史研究』八〇号
- 一九六八 「門脇禎二・甘粕健著『古代専制国家』『日本史研究』九六号
- 一九七〇 「平野邦雄著『大化前代社会組織の研究』『日本史研究』一一二号
- 一九七二 「林屋辰三郎著『日本の古代文化』『日本史研究』一二八号
- 一九七五 「門脇禎二・甘粕健編『民衆史の起点』『日本史研究』一五七号
- 一九七六 「笹山晴生著『古代国家と軍隊―皇軍と私兵の系譜―』『史学雑誌』第八五編一号
- 一九七七 「山尾幸久著『日本国家の形成』『史苑』第三八卷第一・二号
- 一九八〇 「原島礼二『日本古代王権の形成』『歴史学研究』四八四号
- 一九八五 「門脇禎二著『葛城と古代国家』『史苑』第四四卷第二号
- 一九八六 「笹山晴生著『日本古代衛府制度の研究』『日本史研究』二八四号

【その他】

- 一九六六 「日本古代史研究の現況と課題」『新しい歴史学のために』一一八号
- 一九六八 「国の等級について―宝亀六年三月乙未条をめぐる―」『（京都大学文学部読史会）国史研究室通信』一号
- 一九七八 「古代史部会活動報告／越後国の成立」『歴史学研究月報』二二七号
- 一九八五 「古代地方史の研究」地方史研究協議会編『新版地方史研究必携』岩波書店
- 一九九五 「報告／日本歴史学協会について」『史苑』第五五卷第二号
- 一九九七 「報告」『史苑』第五八卷第一号
- 二〇〇〇 「活動報告／日本歴史学協会・日本学術会議等について」『史苑』第六一卷第二号
- 二〇〇一 「史苑の窓／入鹿と女帝」『史苑』第六一卷二号

※事典原稿及び『歴史読本』、『明日香風』等の一般誌掲載論文は割愛した。